

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆世界の成長、5.9%に下げ IMFが21年予測を下方修正

・国際通貨基金(IMF)は12日改定した世界経済見通しで2021年の実質成長率の見通しを5.9%と前回7月の予測から0.1ポイント引き下げた。新型コロナウイルスの感染再拡大による供給制約が響き、全体として成長に下振れリスクがあると懸念を表明。高インフレが長引く可能性にも警戒感を示した。

◆首相、「GoTo」再開へ制度見直し 安心・安全前提に

・岸田文雄首相の所信表明演説への代表質問が13日午前、参院本会議で実施された。首相は観光需要喚起策「Go To トラベル」の再開を目指すにあたり制度を「抜本的に見直す」と述べた。「ワクチン接種証明や検査の活用による安全、安心の確保を前提とする」と説明した。

◆「生物多様性を回復させる」 COP閣僚宣言

・中国・昆明でオンライン形式を併用して開催中の国連生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)は13日、閣僚級会合で「少なくとも2030年までに生物多様性の損失を逆転させ回復させる」とする「昆明宣言」を採択した。22年春の対面交渉で、30年までに各国が陸域と海域の30%を生物保護区にするといった新たな世界目標の合意をめざす。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆8月機械受注2.4%減、2カ月ぶりマイナス 基調判断下げ

・内閣府が13日発表した8月の機械受注統計によると、設備投資の先行指標となる「船舶・電力を除く民需」(季節調整済み)は前月比2.4%減の8393億円となり、2カ月ぶりのマイナスだった。内閣府は基調判断を6カ月ぶりに引き下げ、「持ち直しの動きに足踏みがみられる」とした。

◆ナイス、PBを収益の柱に 住宅着工戸数減で

・住宅事業を手掛けるナイスはインテリアや家電、エクステリアなどのプライベートブランド(PB)を展開する。全国の工場と提携し、家具や洗面台、照明器具、門柱などを委託生産。中小工務店を通じて施主に売り込むほか、自社で販売する住宅でも扱う。新規の住宅着工戸数の減少が予想される中、新たな収益の柱とする考え。

◆ダイニチ工業、加湿器の在庫積み増し 9月は2割増産

・暖房機製造のダイニチ工業は加湿器の増産体制を続けている。9月の生産量は前年同月より20%多く、10月も前年並みの生産を続ける。新型コロナウイルス対策として堅調な販売が続くなか、冬場の需要期に向けて在庫を積み増す。ダイニチ工業の加湿器は新型コロナ禍を受けて需要が伸び、小売店などでは在庫薄になっていた。

《 注目商品 》

■三菱電機、ルームエアコン「霧ヶ峰」から「FZシリーズ」と「Zシリーズ」

・ルームエアコン「霧ヶ峰」の新商品として、「FZシリーズ」と「Zシリーズ」計18機種を11月1日から順次発売。効果的な換気を実現する機能に加え、在宅時間の増加に伴う長時間使用でも清潔性・快適性・省エネを高める機能を新たに搭載。



■三菱電機、「ロスナイセントラル換気システム<スマート e-Flo システム対応>」

・ルームエアコンと連携する住宅用全熱交換型換気機器「ロスナイセントラル換気システム<スマート e-Flo(TM) システム対応>」を11月1日に発売。ルームエアコンとの連携制御により、室内の快適性をさらに向上させて効率的な省エネ換気を実現。



■パナソニック、電動工具「EXENA(エグゼナ)」から「充電ハンマードリル」

・幅広い作業レンジでのパワフルな穴あけをクラス最短・最軽量ボディで実現。さらにモーター内蔵型の集じんシステム付きもラインアップし、粉じんの飛散を低減するため、リニューアルの現場でも活躍。元に重心が来るよう設計、狭所作業や難しい体勢での穴あけも片手で作業可能。

